

海外フィールド実習の成績評価について

FOLENS プログラムにおける「海外フィールド実習（1単位）」の成績については、引率教員が行う実習及び事後レポートに関する評価と、ポストフィールド報告会における発表の評価を合わせ、最終的に絶対評価でS～Dを決定します。

成績はS～Dの5段階・絶対評価で付与されます。評価は次の2ステップで行います。

(1) 実習及び事後レポートに関する評価

実習前の準備、実習中の積極性、実習地における環境問題への意識、関連する諸問題への関心、アジア・アフリカ地域の現場から学ぶ姿勢、カウンターパートに対する応対について、引率教員が評価します。学生には、事後レポート（A4版3～5枚程度。様式配布。）の提出を求めますので、事後レポートも評価の材料として下さい。評価結果はポストフィールド報告会の前までに FOLENS オフィスにお伝え下さい。日取りは学期毎に連絡します。

(2) ポストフィールド報告会に関する評価

学生には、ポストフィールド報告会において実習内容を15分程度で発表（英語）してもらいます。ポストフィールド報告会での発表に関しては、引率教員及びポストフィールド報告会に出席する教員が評価します。ポストフィールド報告会では、実習で得た経験や知識が消化され適切に他者へ伝えられたか、自身の研究や将来へどのように生かすかのビジョンが示されているか、などの点から評価します。

FOLENS オフィスでは、実習及び事後レポートに関する評価結果を80%、ポストフィールド報告会での発表に関する評価結果を20%として重み付けをし、最終評価を行います。この80%、20%の重みづけの場合、実習及び事後レポートに関する評価とポストフィールド報告会の評価が3段階以上異ならない限り、実習及び事後レポートに関する評価がそのまま最終成績となります。

成績評価基準および評価用紙

【成績評価方法】

(1) 実習及び事後レポートに関する評価

<評価者>

実習の引率教員

<評価基準>

(事前) 準備での積極性

(実習中) 積極性、協調性、実習地の環境問題への意識、現場から学ぶ姿勢

(レポート) 現地環境問題への理解、自身の経験や考えが書かれているか、記載は明快か。

(全般) カウンターパートや訪問先の方への対応、関連する諸問題への関心。

(2) ポストフィールド報告会に関する評価

<評価者>

引率教員でポストフィールド報告会にもご参加いただいた場合、本項についてもお願いします。その場合、別途 FOLENS 教員も評点を行って、その結果を加味します。また、ご都合等によりポストフィールド報告会にご参加いただけなかった場合は、FOLENS 教員が評価します。

<評価基準>

(明瞭性) 実習の目的、活動内容、得られた成果、考察内容を明瞭に示したか。

(理解と伝達) 経験や知識が消化され、適切に他者へ伝えられたか。

(考察と展望) 経験に基づく自らの考察や意見、自身の研究や将来ビジョンへの展望が示されたか。

(1) 実習及び事後レポート および (2) ポストフィールド報告会 について、それぞれ 100点満点評価をお願いします。(2)については FOLENS 教員による評点も事後に加味することをご承知おきください。その結果について、 $(1) \times 0.8 + (2) \times 0.2$ により最終的に100点満点で計算し、SABCを決定いたします。

【引率教員による評点と所見】

- ・ 学生氏名： _____
- ・ 評価者氏名： _____
- ・ (1) 実習及び事後レポート の点数： _____
- ・ (2) ポストフィールド報告会 の点数： _____
- ・ 環境リーダーの育成機会としてどのような工夫を行い、どのような成果が得られたか、所見をお書き下さい。： _____

